

SUZUKID®

— 溶接シーンに新しいスパークを —

取扱説明書

メタルバンドソー エッジホッパー

EDGE HOPPER

EH-01



使用動画は
コチラ

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

スター電器製造株式会社

STAR ELECTRIC MANUFACTURING CO.,LTD.

- 警告・注意の意味
..... 1
- 安全上のご注意
..... 1～4
- 仕様
..... 5
- 各部の名称と標準付属品
..... 5～6
- 消耗販売部品
..... 6
- あると便利な周辺アイテム
..... 7

ご使用前に

- ご使用前に
..... 7～8
- 各部の調整
..... 8～12
- 使用方法
..... 13～14
- 帯のこ刃の交換方法
..... 15
- 定寸ガイドの使用方法
..... 16
- コンターテーブルの使用方法
..... 17

作業にあたり

- メンテナンス
..... 18
- 故障かな？と思ったとき
..... 19～20
- アフターサービスについて
..... 21
- 保証書
..... 22～23

お知らせ

● 警告・注意の意味について

ご使用の注意事項は ⚠ 警告 と ⚠ 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告： 誤った取り扱いをした時に、使用者が死亡または重症を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度。

⚠ 注意： 誤った取り扱いをした時に、使用者が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される危害・損害の程度。

なお、⚠ 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

バンドソー 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。これらを守らずに使用しますと、死亡または重症などの重大な人身事故を引き起こす場合があります。
- お読みになった後は、使用者がいつでも見ることのできる場所に必ず保管してください。

警告

1. ご使用前に取扱説明書の注意事項を必ず守ってください。これらを守らずに使用しますと、死亡または重症などの重大な人身事故を引き起こす場合があります。
2. 作業場所は整理整頓された状態に保ってください。
 - ・ ちらかった場所では、事故の原因になります。
3. 作業場所の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 湿気は感電事故のもとになります。雨中、濡れた場所、湿った場所、機器内部に水や油の入りやすい場所では、使用しないでください。
 - ・ 可燃性の液体やガスの近くでは作業しないでください。爆発する恐れがあります。
4. 感電事故の防止を！
 - ・ 確実にアース（接地アース）を接地してください。
 - ・ 電源コードに絶縁機能低下がないように注意してください。
 - ・ 湿気は感電事故のもとになります。
 - ・ 帯のこ刃の交換作業時は常に乾いた手袋を使用してください。破れたり、濡れた手袋を使用しないでください。



5. 作業場所に子供を近づけないでください。

- ・ 使用者以外、本機に触れないでください。
- ・ 使用者以外、周囲に人を近づけないでください。

6. 使用しない場合、適切な場所へ保管してください。

- ・ 乾燥した場所、子供の手の届かない場所、または鍵のかかる場所へ保管してください。
- ・ 雨中、濡れた場所、湿った場所、機器内部に水や油の入りやすい場所、直射日光の当たる場所は避けてください。

7. 過度な使用はしないでください。

- ・ 切断機の能力に合った速さで作業してください。
- ・ モータをロックさせるような使い方はしないでください。

8. 弊社指定の帯のこ刃やオプション品を使用してください。

- ・ 取扱説明書に記載されている以外のものは使用しないでください。

9. 作業に適した服装で使用してください。

- ・ 手袋、だぶだぶの衣服、ネックレス、ネクタイ、マフラーなどの装身具は回転部に巻き込まれてけがをする恐れがあるため、着用は止めてください。
- ・ 滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- ・ 長い髪は、ヘルメットや帽子、ヘアカバーなどで覆ってください。

10. 保護具を使用してください。

- ・ 作業時は、切断した粉じんから目を守るため保護メガネを使用してください。
- ・ 粉じんの多い作業では、有効な呼吸用保護具を使用してください。また騒音の大きな作業では、耳栓などの防音用の保護具を使用してください。

11. 電源コードの扱いに注意してください。

- ・ 電源コードを持って運搬したり、電源コードを引っ張ってコンセントからプラグを抜かないでください。電源コードを熱や油、鋭利な場所に近づけないでください。

12. 切断物はしっかりと固定してください。

- ・ 切断物はバイスでしっかりと固定してください。

13. 無理な姿勢で作業しないでください。

- ・ 常に足元をしっかりとさせて、バランスを保った状態で作業してください。



警告

14. 日頃から注意深く手入れしてください。

- ・ 部品の交換は取扱説明書（15 ページ）に従ってください。
- ・ 延長コードを使用する場合、定期的に絶縁不良がないか点検してください。
- ・ 損傷している場合は、新しいものと交換してください。
- ・ 握り部分は、常に乾いた状態で清潔に保ち、油やグリスが付かないようにしてください。

15. 次の場合、本機の電源スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・ 使用しない場合、帯のこ刃や部品の交換、修理する場合。
- ・ その他、危険が予測される場合。
- ・ 本機を移動させる場合。

16. 電源プラグを差し込む前に本機の電源が OFF になっていることを確認してください。

- ・ 電源スイッチが ON の状態で電源プラグを差し込むと帯のこ刃が回転して危険です。
- ・ 必ず電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。

17. 電源コードを延長する場合は適切な延長コードを使用してください。

18. 取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分に注意して慎重に作業してください。

19. 疲れているときなど、作業に集中できないときは使用しないでください。

20. 使用前に損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 保護カバーや帯のこ刃が正しく取り付けられているか確認してから使用してください。
- ・ 電源スイッチ、トリガスイッチが故障している場合は使用しないで、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

21. 本機の修理は、お買い求めの販売店や弊社アフターサービス課に依頼してください。

- ・ 分解や改造はしないでください。

22. 指定された用途以外には使用しないでください。

- ・ 誤った使用方法是事故やけがの原因になり、危険です。

23. 正しい電源電圧 (AC100V) に接続してください。

- ・ 取扱説明書や本機の銘板に表示してある定格電圧以外の電圧で使用しないでください。

24. 保護カバーは、必ず閉じた状態で使用してください。

- ・ 保護カバーが開いた状態で使用すると衣服などが巻き込まれ、事故の原因になります。

25. 本機を誤って落としたり、ぶつけたときは、帯のこ刃や保護カバーなどに破損や変形などの異常がないかよく点検してから使用してください。

警告

26. 使用中に回転している帯のこ刃、バース、切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
27. 使用中に機器の調子が悪かったり、異常な音や振動がある場合、直ちに電源スイッチを OFF にして使用を止めて、お買い求めの販売店や弊社アフターサービス課に点検・修理を依頼してください

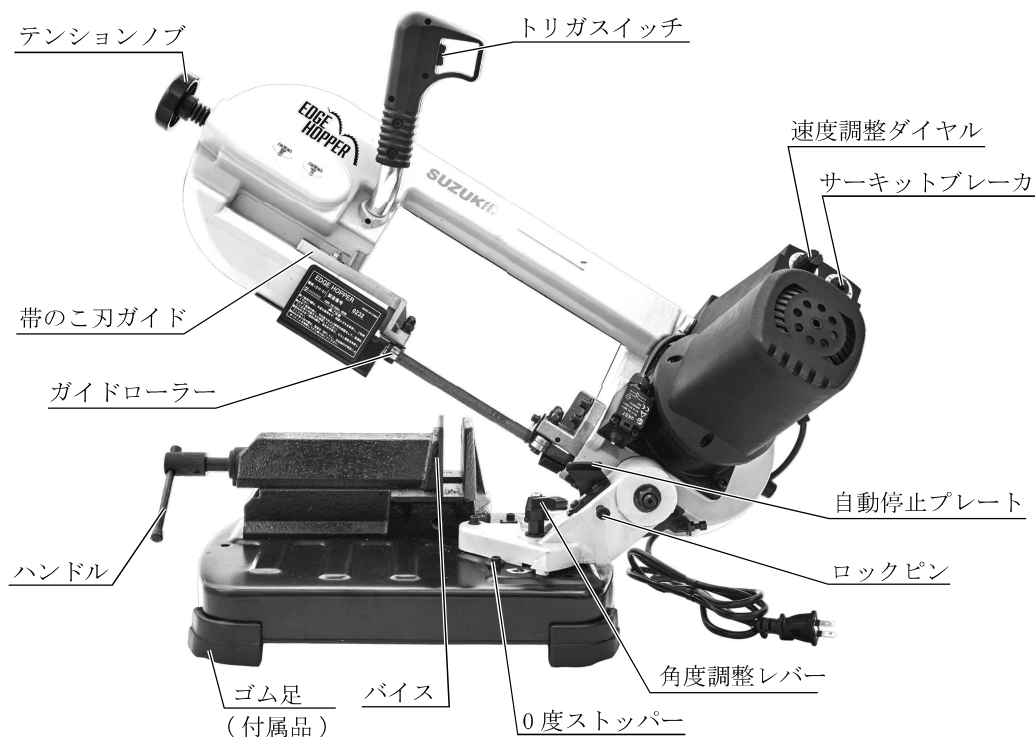
注意

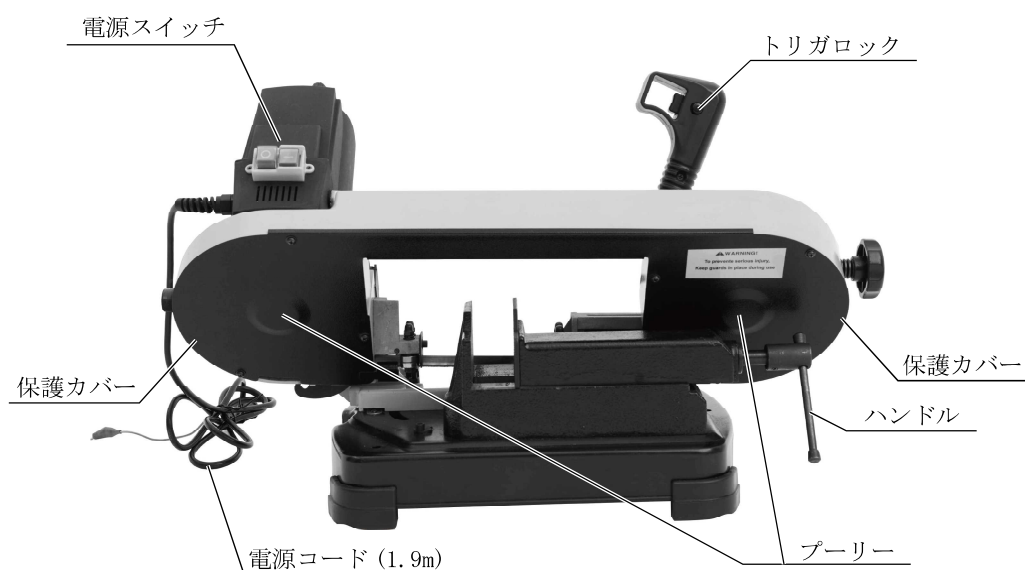
1. 本機は平坦で振動の少ない場所で使用してください。
 - ・傾いた不安定な場所で作業すると事故やけがの原因になります。
2. 切断材料は、付属のバースにしっかりと固定してください。
 - ・固定が不十分だと本機の破損だけでなく、事故の原因になります。また切断精度が悪くなります。
3. 使用中は軍手などの巻き込まれる恐れのある手袋は着用しないでください。
4. 作業前に周囲の安全を確認してから試運転させて、異常な音や振動がないことを確認してください。
5. 切断材料に帯のこ刃を急激に落下させないでください。帯のこ刃が破損して、けがの原因になります。
6. 使用中に回転する帯のこ刃で電源コードを切断しないようにしてください。
 - ・感電する危険があります。
7. 切断直後の材料や帯のこ刃は熱くなっているため、素手で触らないようにしてください。
 - ・やけどの原因になります。
8. 帯のこ刃を回転させたままの状態では放置しないでください。
9. 本機の自重のみで切断をしてください。無理に力を加えると帯のこ刃が破損してけがや故障の原因になります。コンターテーブル（オプション品）を使用する場合は、自重切断ではなく、手で切断を送ります。
10. 高所で作業するときは、下に人がいないことを確認してください。電源コードを引っかけたりしないでください。材料や本機を落として事故の原因になります。
11. 本体に防錆油が付着している場合がございます。ご使用する前に付着している防錆油をよく拭き取ってから切断作業をしてください。

● 仕様

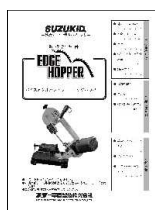
品名	エッジホッパー
型式	EH-01
定格入力電圧	AC100V
消費電力	400W
定格周波数	50Hz/60Hz
周速	38m/min～80m/min
本機寸法（幅×奥行×高さ）	715×355×400mm
質量	21kg
切断可能材料	鉄・アルミニウム・真鍮・ステンレス鋼・銅
最大切断能力（0°）	丸パイプ：φ125mm / 角パイプ 幅125×高さ125mm
最大切断能力（45°）	丸パイプ：φ76mm / 角パイプ 幅76×高さ125mm
最大切断能力（60°）	丸パイプ：φ45mm / 角パイプ 幅45×高さ125mm
最大切断可能板厚	20mm
帯のこ刃寸法（長さ×刃幅×刃厚×山数）	1435×13×0.65mm 14/18山 材質：コバルトバイス
替刃対応サイズ	1429～1441mm

● 各部の名称および標準付属品





標準付属品



取扱説明書



帯のこ刃 (サンプル)
(本体取り付け済み)



定寸ガイド



ゴム足 4 ケ



板スパナ 8 × 10mm
(本機では 10mm しか使用しません)



六角棒スパナ 5mm

● 別途販売部品 (消耗品)



EDGE HOPPER 用替刃 3 本入り
型式 /P-807
JAN コード /4991945 033061



EDGE HOPPER 用替刃 10 本入り
型式 /P-809
JAN コード /4991945 033184

● あると便利な周辺アイテム

コンターテーブル機能が使用可能となり、切り抜きや曲線を切断することができます。



コンターテーブル

P-805 コンターテーブル
JAN コード /4991945 033030

標準付属品の定寸ガイドより更に長く、約1,000mmの範囲で使用することができます。



長尺定寸ガイド

P-806 長尺定寸ガイド
JAN コード /4991945 033047

● ご使用前に

1. 電源電圧を確認する。

必ず銘板に表示してある電圧 (AC100V) でご使用ください。表示を超える電圧で使用すると、モータの回転数が異常に速くなったり、モータの制御装置が破損する恐れがあります。また、直流電源、エンジン発電機を使用しないでください。製品が故障するだけでなく、事故の原因になります。

2. 電源スイッチが切れている (OFF) ことを確認する。

電源プラグを差し込む前に、電源スイッチの OFF スイッチ (「○」) を押して電源スイッチを確実に OFF にしてください。電源スイッチが ON の状態で電源プラグを電源コンセントに差し込むと不意に機器が起動し、思わぬ事故の原因になります。

3. 帯のこ刃の取り付け状態を確認する。

帯のこ刃の取付状態を確認してください。

帯のこ刃の調整方法については、8～12 ページ「各部の調整」を、
取り付けについては、15 ページの「帯のこ刃の交換方法」の項を、参照してください。

4. 帯のこ刃の状態を確認する。

帯のこ刃に刃欠け、ヒビなどの異常がないことを確認してから使用してください。

異常があると、帯のこ刃が破損し、けがの原因になります。

帯のこ刃は、弊社指定の純正品 (6 ページ参照) を使用してください。

5. 保護カバーの取り付けを確認する。

保護カバーは必ず、取り付けネジ (6 本) が緩んでいないことを確認して取り付けてください。

帯のこ刃が破損したり、はずれたとき、けがの原因になります。

保護カバーと帯のこ刃が接触していないことを確認してください。

保護カバーは、身体が帯のこ刃に触れる事故を防止するとともに、帯のこ刃が破損したり、はずれたときに、帯のこ刃が飛び出してくるのを防止するものです。従って、保護カバーを取り外して使用することは絶対しないでください。

6. 電源コンセントの点検

電源プラグを電源コンセントに差し込んだとき、ガタガタしたり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

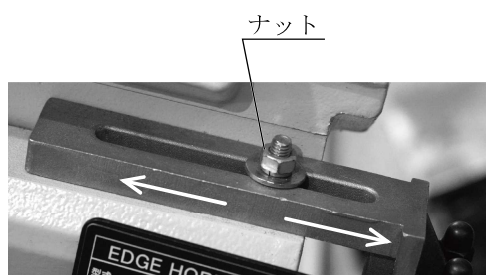
各部の調整

帯のこ刃ガイドの調整

帯のこ刃ガイドの付属の板スパナを使用してナットを緩めることでガイドローラーの位置調整が可能となります。

また、ガイドローラーの位置を調整することで、刃振れを抑える効果もあります。

切断物の長さに合わせてガイドローラーの位置を調整し、調整後は付属の板スパナでナットを締めてください。



切断角度の調整

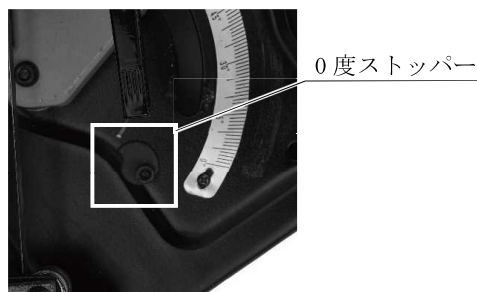
角度調整レバーを緩めることで本体の角度の調整が0° から60° まで可能となります。

切断角度に合わせて角度を調整し、調整後は角度調整レバーを締めてください（角度調整レバーを引き上げるとレバーの位置を変えられます。レバーが回しやすい位置で押し下げてからレバー操作を行なってください。）



0度ストッパーの調整

0度ストッパーにズレがある場合は、六角棒スパナで0度ストッパーを緩め、本体の位置をメモリで0度に合わせて角度調整レバーで固定し、0度ストッパーが本体に当たる位置に合わせて六角棒スパナでしっかりと0度ストッパーを固定してください。



帯のこ刃周速の調整

帯のこ刃周速の設定は速度調整ダイヤルをまわし、切断材料の材質や厚さに合わせ設定して下さい。速度調整ダイヤルが「1」に近づくほど周速はゆっくりになります。

切断材料が硬かったり、厚かったりするほどダイヤルを「1」に近づけてください。

11 ページの切断目安表を参考にして周速を調整してください。

速度調整ダイヤル



帯のこ刃テンションの調整

テンションノブを回すことで帯のこ刃のテンションを調整することができます。右に回すと締まり、帯のこ刃のテンションが強くなります。

帯のこ刃はテンションが弱いと外れやすくなります。切断箇所付近の帯のこ刃の中央部を横向きに指で押して約 1 ～ 2mm たわむくらいが適切なテンションとなります。

テンションノブ



自動停止プレートの調整

切断中に電源が OFF もしくは切断完了後も電源が自動で OFF にならない場合、切断停止スイッチプレートの位置に問題があります。

切断中に電源が OFF となる場合は、プレートの位置が適正位置より上です。

六角全ネジボルトを緩めてプレートの位置を下に調整してください。

切断完了しても電源が OFF にならない場合は、プレートの位置が適正位置より下です。

六角全ネジボルトを緩めてプレートの位置を上調整してください。



六角全ネジボルト

ロックピンについて

ロックピンを引くと本体部が開く位置を可変できます。穴位置でロックピンを押し込むと本体部が固定されます。本機をご使用しない場合もしくは、コンターテーブル（オプション品）をご使用される際は、ロックピンを押し込み、本体部がしっかり固定されていることをご確認ください。

上記以外で通常の切断作業時はロックピンを手前に引いて固定を解除してご使用ください。



ロックピン

固定解除

サーキットブレーカについて

切断中に帯のこ刃に負荷がかかるとモータが停止することがあります。その際は、電源スイッチのOFFスイッチ（「○」）を押して、トリガロックを解除し、サーキットブレーカを押してください。その後、安全を確認し、電源スイッチをONにした状態でトリガスイッチを押すと切断が再開します。

サーキットブレーカ



ならし運転について（本機に装着されている帯のこ刃はならし運転されていません）

新品の帯のこ刃を使い始める際は、まずはじめに2～3mm程度の薄い鋼材を速度調整ダイヤルを「1」にして試し切りを実施してください。

試し切りをしないで厚手の切断材料を切断したり周速を上げた状態で切断をしますと帯のこ刃が欠けてしまい、帯のこ刃の耐久性が著しく損なわれる恐れがあります。

帯のこ刃の角度調整

刃の交換・切断時の振動などで各箇所ゆのゆるみやズレが発生し、角度の精度が出なくなることがあります。その際は以降を参照し角度の調整をしてください。

※動画は右記QRコードからSUZUKID 公式 You Tube チャンネルを参照ください。

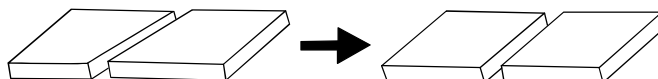
<https://www.youtube.com/watch?v=qgPNRojBaOQ>



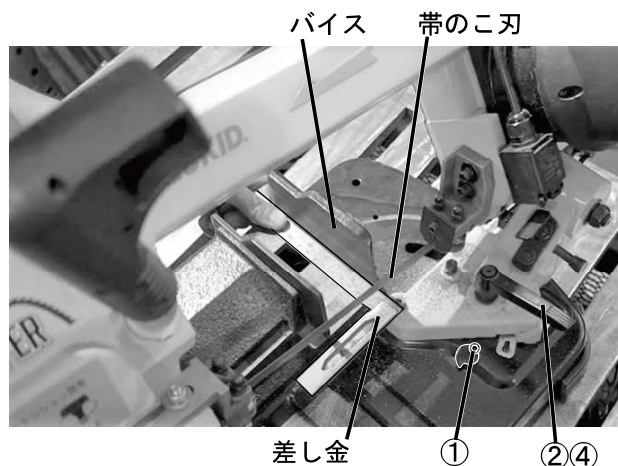
⚠ 警 告

調整時は試し切り時を除き、コンセントから本体の電源プラグを抜いた状態で作業をしてください。、帯のこ刃でケガをしないように十分注意してください。また、本体上部を立ち上げている際に、ロックピンで固定する等、本体が倒れてこないように十分注意してください。

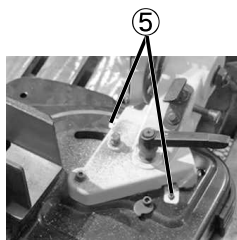
<横軸の調整方法>



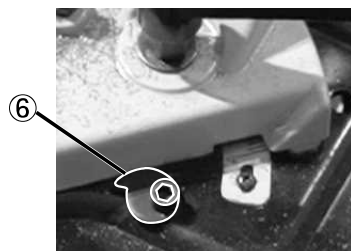
- ① 0度ストッパーを緩めます。
- ② 角度調整レバーを緩めます。
- ③ 差し金（直角定規）をバイスに当て、バイスと帯のこ刃が90度になるように本体の向きを調整します。
- ④ 角度調整レバーを締めて固定します。



- ⑤ メモリのネジ (2箇所) を緩め、メモリを 0 度 の位置に合わせて調整し、ネジを締めて固定します。

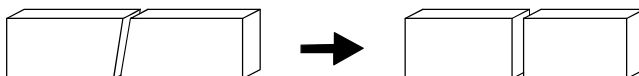


- ⑥ 0 度 ストップアーを元に戻し固定します。



- ⑦ 試し切りをして角度の確認をします。

＜縦軸の調整方法＞



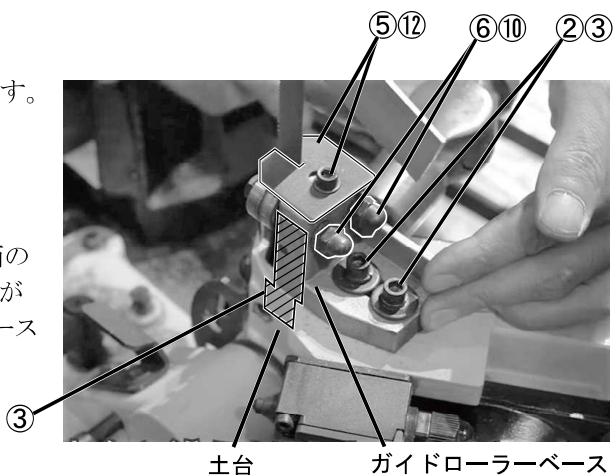
- ① 平らな端材をクリップ等で帯のこ刃に固定します。



平らな端材

- ② ガイドローラーベース部のネジを緩めます。

- ③ ガイドローラーベース部の面と土台の面のズレが無くなるように (右図斜線部の面が同一面になるように) ガイドローラーベースの位置を調整してネジを締めます。



土台

ガイドローラーベース

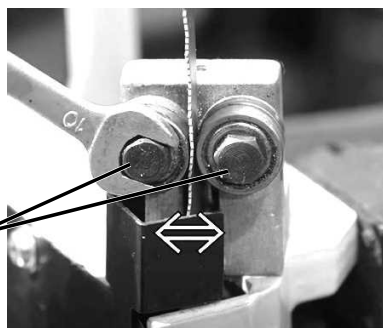
- ④ 試し切りをします。
まだ精度が出ていない場合、以下の調整をします。

⑤ ネジを緩めて ガイドローラープレートを外します。

⑥ ガイドローラーベース部の袋ナットを緩めます。

⑦ ベアリングの六角部を回すと、ベアリング位置を左右に動かすことができます。平らな端材に差し金をあて、縦軸角度を調整します。

⑦⑨



⑧ もう一方のガイドローラーのベアリング位置も同様に調整します。

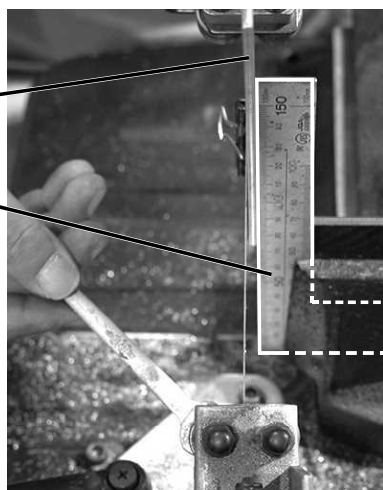
⑩ 袋ナットを締めます。

⑪ 試し切りをして角度の確認をします。

⑫ ガイドローラープレートを戻してネジで締めます。

平らな端材

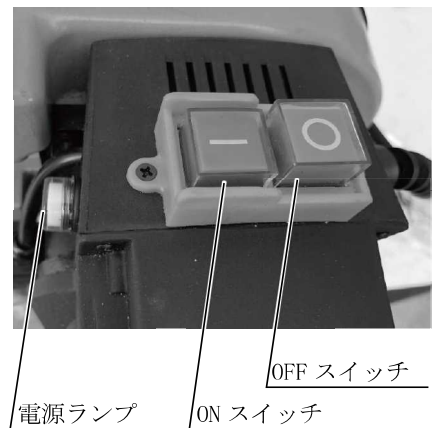
差し金



● 使用方法

電源スイッチの操作

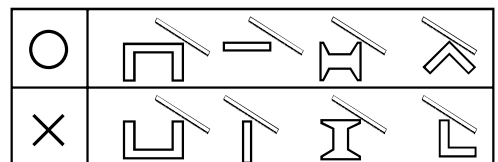
1. 電源スイッチの OFF スイッチ（「○」）を押して OFF 状態にします。トリガスイッチを押してトリガロックが解除（ボタンが凸状態）していることを確認します。
2. 100V 電源にプラグを差し込みます。電源プラグのワニグチクリップはアースに接続します。
3. 「|」のスイッチを押して電源を ON にします。電源ランプが点灯していることを確認してください。
4. 誤操作防止のため、使用しない場合は電源スイッチの OFF スイッチ（「○」）を押して電源を OFF（電源ランプ消灯）にします。



切断作業

1. 切断材料がブレないようにバイスでしっかりと固定してください。
2. 切断材料に対し、帯のこ刃の刃が正しい角度で当たることを確認します。
※切断材料に対して刃が2山以上かかるように調整します。

切断材料の置き方の良い例・悪い例



3. トリガスイッチを押すと帯のこ刃が回転します。トリガスイッチを押した状態でトリガロックすると回転が維持されますので、切断材料にゆっくり当てて切断を開始します。
4. 切断が終了すると電源が自動で OFF になります。電源ランプが消灯して帯のこ刃が回転していないことを確認し、トリガスイッチを押してトリガロックを解除してください。
5. 本体部を上を持ち上げて、ロックピンで固定し、本体部が動かないことを確認します。その後、バイスを緩めて切断材料を取り除きます。

注意

- ・ 帯のこ刃が切断材料に接している状態から回転を開始させると切断材料がバイスからはずれる危険があります。また、刃こぼれの原因ともなりますので、絶対におやめください。
- ・ トリガロックまたはトリガスイッチが押されたまま電源スイッチを ON にすると、帯のこ刃が半時計方向に回り始めます。取り扱いには充分ご注意ください。

材料・厚みに対する速度調整ダイヤル位置は下表を参考にしてください。

切断目安表		速度調整ダイヤル					
材料	厚さ	1	2	3	4	5	6
軟鋼	～ 3mm						●
	3mm ～ 6mm					●	●
	6mm ～ 20mm			●	●		
ステンレス	～ 3mm	●	●				
	3mm ～ 6mm	●					
	6mm ～ 20mm	●					

● 帯のこ刃の交換方法

帯のこ刃の交換の際は、電源スイッチは OFF にして電源プラグを電源コンセントから抜いた状態で行なってください。

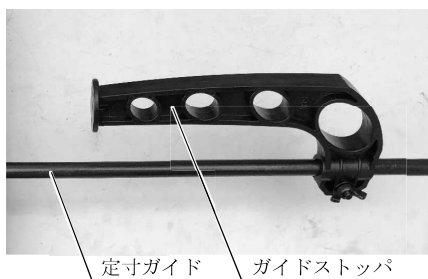
電源をつないだまま作業を行うと、ケガや事故の原因となります。

1. 保護メガネを装着し、保護カバーを取り付けているネジを全てはずし、保護カバーを取りはずします。
2. 厚手の手袋を着用し、帯のこ刃がたわむまでテンションノブを反時計回りに回して緩めます。
3. 帯のこ刃をホイールからはずし、ガイドローラーから帯のこ刃を取りはずします。
4. 本体部に切粉や余分な油がある場合は取り除いてください。
5. 新しい替刃をきれいな布で拭き、余分な油を取り除いてください。
6. ガイドローラーに新しい替刃を取り付けます。
7. ガイドローラーから新しい替刃がはずれないように、ホイールの外側に新しい替刃を取付ます。
8. テンションノブを時計回りに回して帯のこ刃がしっかりと取り付けられているのを確認し適切なテンションにしてください。
9. 厚手の手袋をはずし、本体の電源プラグを電源コンセントに差し込み、電源スイッチを ON にしてトリガススイッチを握り 2 ～ 3 秒回転させ、帯のこ刃が正常に回転することを確認します。
※帯のこ刃の破損に注意してください
10. 保護カバーを確実に取り付けネジで固定します。

※帯のこ刃は、ならし運転後、使用してください。(10 ページ参照)

● 定寸ガイドの使用方法

1. 付属品の定寸ガイドにガイドストップを取り付けます。オプション品の長尺定寸ガイド (P-806) をご使用の際は、定寸ガイド 1 と定寸ガイド 2 を組み合わせて、組み合わせた定寸ガイドにガイドストップを取り付けます。



2. ガイドストップと組み合わせた定寸ガイドを本体横の取付穴へ取り付けます。
オプション品 (P-806) をご使用の際は、反対方向に定寸ガイド支柱を設置します。



3. ガイドストップを適切な長さに合わせて固定し、使用してください。



● コンターテーブル (オプション品) の使用方法

1. EDGE HOPPER 本体を上にあげて、ロックピンで本体を固定し、パイスを開きます。

ロックピン



2. コンターテーブルの切り欠きの部分に刃がくるように設置し、パイスでコンターテーブルを固定します。

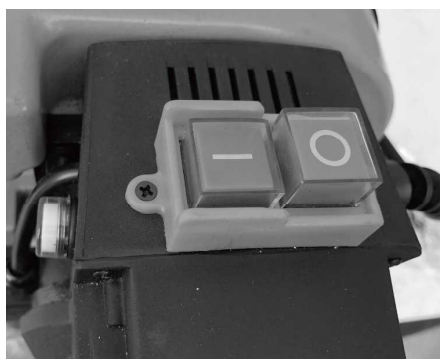
切り欠き



3. EDGE HOPPER の電源を ON にし、トリガスイッチを押しながらトリガロックを押し、切断材料を切断します。
自重切断ではなく、切断材料を手で送って切断しますので、巻き込みやケガのないようにご注意ください。



4. 材料の切断が終了したら、電源スイッチの OFF スイッチ (「○」) を押して OFF にしてからトリガスイッチを解除します。



● メンテナンス

■ 清掃方法

メンテナンスは必ず電源コンセントから電源プラグを抜いた状態で実施してください。

日常のお手入れは乾いたブラシや布で表面を拭き、帯のこ刃についた余分な油や切り屑を拭ってください。

モータ部分についた切り屑等は常にきれいにしておいて下さい。

プーリー・ガイドローラーについている汚れは定期的に除去してください。

各ネジに緩みがないことを確認してください。

■ 電源コードについて

電源コードは定期的に点検し、もし破損等、問題が生じた場合はお近くの営業所までお問い合わせください。

■ 部品交換について

帯のこ刃の切れ味が悪くなってきたら部品交換の時期です。

部品交換は弊社指定の純正部品を使用してください。

■ 保管について

本機を長時間使用しない場合は、電源コンセントから電源プラグを抜き、帯のこ刃をはずして保管してください。

● 故障かな？と思ったとき

故障かな？と思ったとき修理を依頼される前に下記の点検をお願い致します。

項 目	原 因	対 処
モータが回転しない	電源の元のブレーカが OFF	電源ブレーカを ON にします
	電源コードの断線	電源コードの交換が必要です 弊社へ問い合わせてください
切断中の衝撃や振動音（ビビリ音）が大きい	帯のこ刃の変形	帯のこ刃を交換する
	回転中に帯のこ刃がぐらつく	帯のこ刃のテンションを調整する 帯のこ刃ガイドの位置を調整する
切断した時に力が弱い	帯のこ刃が正確に取り付けられていない	帯のこ刃の取り付けを確認する
	電源電圧が低い（電圧降下している）	昇圧器を使用して、電圧降下を改善する
切断が最後まで切れずに回転しながら止まってしまう	バイスのハンドルが本体に当たっている	バイスのハンドルの位置を本体に当たらないように変えてください
	切断材料が倒れて、完全に切断することができない	定寸ガイドを使用して切断してください
モータの過熱	切断するときに力を入れすぎている	自重切断で切断してください
帯のこ刃がはずれる	帯のこ刃や本体部に油や汚れが付着している	帯のこ刃や本体部に付着している油や汚れを拭き取ってください
	切断材料に油が付着している	切断材料の油を拭き取ってください
	帯のこ刃が正確に取り付けられていない	帯のこ刃の取り付けを確認する
帯のこ刃が切れる	テンションがゆるい	テンションを調整してください
	刃が汚れていたり、刃こぼれしたりしている	帯のこ刃を交換してください

項 目	原 因	対 処
切断中に電源が OFF になる	自動停止プレートが適正位置より上	六角全ネジボルトを緩めてプレートの位置を下に調整してください
切断完了後も電源が自動で OFF にならない	自動停止プレートが適正位置より下	六角全ネジボルトを緩めてプレートの位置を上調整してください

アフターサービスについて

■商品に関するお問い合わせ

— よくあるご質問 —

製品情報や使い方について困ったことなど
よくあるご質問をまとめました。



URL <https://suzukid.co.jp/qa/>

上記をご覧になっても疑問が解決しない場合、右記のお客様相談室又は下記の各種お問い合わせフォームからお問い合わせください。

— お客様相談室 —

フリーダイヤル

ヨ オ セ ツ パチ パチ



0120-407288

受付時間

平日9:00～12:00/13:00～17:00
(土曜・日曜・祝祭日・年末年始を除く)

※ユーザー様専用ダイヤルとなりますので、恐れ入りますが業者様のご使用はお控えいただけますようお願いいたします。

■お問い合わせフォームによる各種お問い合わせ

当社製品や取扱い店舗、新規お取引希望などのお問い合わせを受け付けています。

URL <https://suzukid.co.jp/contact/>



■修理・故障に関するお問い合わせ

— 修理受付・もしくはお近くの営業所まで —

● 修理受付

〒315-0002 茨城石岡市柏原17-1(石岡事業所 アフターサービス課)

TEL 0299-23-6221 FAX 0299-23-6885

● 本社営業所

〒251-0055 神奈川県藤沢市南藤沢17-15
三井住友海上藤沢ビル3F

TEL 0466-27-2666 FAX 0466-27-1055

● 大阪営業所

〒578-0982 大阪府東大阪市吉田本町1-13-28
COMPLAZA松本 B号室

TEL 072-963-5666 FAX 072-963-5668

● 茨城営業所(石岡事業所)

〒315-0002 茨城県石岡市柏原17-1

TEL 0299-23-6221 FAX 0299-23-6885

● 福岡営業所

〒811-1211 福岡県那珂川市今光5-14-1

TEL 092-953-7011 FAX 092-953-7022

■ SUZUKID 公式ホームページ

製品ページをはじめ、お得なキャンペーンや展示会・
実演会情報・メディア情報など「SUZUKID」の最新情報
を掲載しています。



URL <https://suzukid.co.jp/>

■ 溶接専門キュレーションサイト 溶接人

ビギナーに必要な溶接知識をはじめ、溶接を生業と
する方達の魅力的なインタビュー記事など様々な情
報を掲載。また自慢の溶接レシビや溶接シーンの写
真を投稿可能。溶接に携わる全ての方に向けた溶
接専用サイトです。



URL <https://welder.co.jp/>

☆ 廃棄処分について

本機を廃棄処分する時は、お住まいになっている各自治体の廃棄方法に従って処分してください。

仕様・外観等は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証書

<保証規定>

1. 保証期間

本製品の保証期間は、使用開始時期や使用期間に関わらず、お買い上げ日より1年間です。

2. 保証範囲

下記の場合において保証書をご提示いただくことで本規定に従って無料で修理いたします。

1) お買い上げいただいた弊社製品、構成する各部品に設計や製造上の不具合で欠陥があった場合。

2) 保証期間中に取扱説明書、製品表示の注意書き等に従った使用状態で製品が故障した場合。

3. 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。

1) お客様における解体や改造が行われた場合。

2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。

3) 自然災害(例:地震、雷、火山の噴火、津波、水害など)や公害、塩害、虫害、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。

4) 製品の保管や保守安全管理が適切に行われていなかった場合、または正しい操作や使用が行われていなかった場合。

5) 経年劣化による自然変色や錆。

6) 消耗部品の消耗による交換。

7) 保証書のご提示およびご記入(店舗販売証明を含む)がない場合。(裏面をご記入の上、ご依頼下さい。)

8) 転売、譲渡された場合。

9) 弊社で製品不具合症状が見られなかった場合は、点検料および送料が発生することがあります。

4. 保証の免責

商品の故障によって誘発される損害およびお客様側の機会損失につきましては責任を負いかねます。

5. 日本国内において有効

本保証書は日本国内において有効です。This warranty is valid only in JAPAN.

日本国内でのお取引を前提としています。

お客様への返送先は日本国内のみ(離島および離島に準ずる遠隔地は除く)となります。

6. その他

保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保証書は明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

保証書によってお客様の法律上権限を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理は有償修理となります。

有償修理後の同一箇所の保証期間は6ヶ月です。

修理交換で取り外した部品は、弊社の所有になりますので弊社にて引き取らせていただきます。

部品メーカー供給事情により部品交換および修理できない場合もあります。

販売店が独自に行っている保証制度は、弊社が提供する保証と関係はありません。

保証期間内、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または

弊社までお問い合わせください。

本保証規定は予告なく見直すことがありますので予めご了承ください。

スター電器製造株式会社

STAR ELECTRIC MANUFACTURING CO.,LTD.

【本社営業所】 〒251-0055 神奈川県藤沢市南藤沢17-15 三井住友海上藤沢ビル3F
TEL. 0466-27-2666 FAX. 0466-27-1055

【茨城営業所】 〒315-0002 茨城県石岡市柏原17-1
TEL. 0299-23-6221 FAX. 0299-23-6885

【大阪営業所】 〒578-0982 大阪府東大阪市吉田本町1-13-28 COMPLAZA松本 B号室
TEL. 072-963-5666 FAX. 072-963-5668

【福岡営業所】 〒816-0844 福岡県春日市上白水1-40 パルクス375 1F
TEL. 092-571-2591 FAX. 092-571-2592

SUZUKID

ご記入欄		
お買い上げ 製品型式		
製造番号		
お買い上げ 年月日	年 月 日	保証期間 お買い上げ日より1年間
お客様連絡先	フリガナ	
お名前		
ご住所	〒 —	
電話番号		
お買い上げ 店舗販売証明	販売店印(日付印)または領収書添付	

修理依頼内容	ご依頼日： 年 月 日
修理ご依頼時はご使用状況の情報を教えてください。○印またはご記入をお願いいたします。	
①ご使用頻度は？ 1. 未使用 2. 毎日使用 3. 週に1回程度 4. 月に1～2回 5. 半年に1回 6. ()年に()回程度 7. その他()	
②いつまでご使用できましたか？ 1. 最初から使えない 2. 2～3日前まで使えた 3. 2～3ヶ月前まで使えた 4. 半年前まで使えた 5. その他()	
③不具合状況をご記入下さい。 できるだけ具体的に詳しくご記入ください。	
④修理ご依頼時の本体以外の同梱付属品(弊社へご返送時に同梱した付属品をご記入下さい)。 例:「電源アダプターコード」「充電アダプターコード」「購入時の領収書」など。	

キリトリ